

平成18年度

## 特別会計・企業会計歳入歳出決算

### ■総務課 観光事業会計

**Q**：公営として長く続いたロープウエーを民営化したのが、委託して終わったと考えているか。検証する必要がある。

**A**：委託して終わったとは考えていない。地域と一体となつて伸びていつてもらいたいと考えている。そのために受託業者・地元観光協会・町ともども考えていく必要がある。

### ■地域整備課

#### 下水道特別会計

**Q**：土樽松川の水洗化率は。

**A**：69%。

**Q**：湯沢浄化センターの再構築についての内容。

**A**：電気計装設備が老朽

化していることから、21年度から改修する予定。

### ■地域整備課

#### 水道事業会計

**Q**：平成12年度から利益が減少しているが、今後の新規供給についての考えは。

**A**：マンションへの供給は利用ピークが重なることになる。従つて、通常時の利用を増やす必要がある。内部で検討する。

### ■健康福祉課

#### 介護保険特別会計

**Q**：この保険は3期の1年目であるが、次期の改定見込みはどうか。

**A**：3期目は18年から20年の3カ年である。3期目は地域密着型施設ができることを想定し

ての計画である。また、給付費も4千500万円程度少なくなつてきているが、地域密着型と介護療養型施設の動きが不明の中で、実際は不明である。

**Q**：不能欠損の内容。

**A**：16名。

### ■健康福祉課

#### 病院事業会計

**Q**：医療機器の減価償却も進んでおり町が負担することになると思うが、これらの更新計画は。

**A**：その場合は留保資金1億9千万円に対応する。

**Q**：電子カルテ導入の検討状況は。

**A**：現在は新発田と新潟市民病院で導入している。井上院長から導入したいとの話がある。これは研修医に対する環境整備としても必要で、5年以内に導入せ

ざるを得ない。金額は1億5千万円程度。

**Q**：患者が減少していることから診療報酬が減少するが、病院から要望はないか。

**A**：療養病院の再編が予想され、昨年診療報酬が3.6%減。来春また診療報酬が改定される中、苦しいとは思いますが現在は電子カルテ以外の申し入れはない。

**Q**：病院運営審議会で問題になつていないか。

**A**：地域に信頼されるかかりつけの病院を目指しているが、町民の利用が少ない。もつと町民にPRすべきといわれている。センター便りの各戸配布はできないことから、広報でPRしている現状である。今後新聞折込等を再検討してみる。

### ■町民課

#### 国民健康保険特別会計

**Q**：人間ドックの扱いが今後問題となるのか。

**A**：今のドックは国保の事業として実施している。20年からは特定検診をさせたり、運動をさせたりといった費用も予算計上しなければならなくなる。特定検診と人間ドックが重複することから、この扱いをどうするか問題となる。

**Q**：税の徴収率が他に比べ低くなつてきているが、その理由は。

**A**：景気低迷と税法改正により、所得階層の低い人の滞納が増えていく(200万円以下の滞納者80%)。

### ■町民課

#### 老人保健特別会計

**Q**：後期高齢者医療への移行予定者数は。

**A**：1千200名程度。